



# ほたるの森から

Messages from the HOGARU's forest



編集/発行 守山市ほたるの森資料館

## 最新情報

今年の飛翔状況は、10数年ぶりに最高。昨年比で1.8倍に！

多くの市民の皆さんのご協力のもと、ゲンジボタル飛翔調査が実施されました。

結果は、飛翔調査地点での最高飛翔数の合計は、3317頭（昨年は2098頭）  
昨年の最高飛翔数の183%。10数年ぶりの好成績となりました。その代表地点の飛翔結果を右表でご覧下さい。

市内の初見日は、今宿土橋下流で5月10日に1頭。昨年は5月11日でした。  
また、川田町のJNCファイバース人工河川では、水温（地温）が高いため、4月17日にオス1頭、4月19日にメス1頭が飛

守山市ゲンジボタル飛翔調査結果 最高飛翔数

(単位:頭)

飛翔調査場所	2021年	2020年
立入小学校横吉身川	505	156
資料館のほたる河川	332	234
目田川モデル河川	46	26
三津川河川公園	63	106
吉身小学校横吉身川	123	84
浮気町 小水路	300	未確認
今宿土橋下流側	100	122

んだとの報告があり、3月の平均気温が20.6℃と高い沖縄県久米島では3月30日に飛んだという報告がありました。(K)



写真提供・中島義人さん  
(撮影: 2021・5・26 守山市内河川)

## 飼育室のほたるたち

本年のほたるの森河川では、ここ十数年の間で最多のほたるが飛翔し、来場者からは大変喜んでいただきました。来年も同様に、たくさんのほたるが飛び交うようにと、ホタル資料館で羽化したゲンジボタルを中心に守山



展示室に並ぶカップリング用のかご

地域で採集した成虫も加え、オスとメスのカップリングをしています。ゲンジボタルのメスは、カップリングの後、2~3日で湿った苔の上に0.5



コケの上に産卵された卵



ミリ程度の白色の卵を数十個産卵し、その後毎日卵を産み続け数百個を産卵します。産卵後1ヶ月程度で孵化が始まり、幼虫はそれから春までの8ヶ月間の水槽で幼虫飼育されるのです。

6月中旬から7月中旬は孵化の時期であり、毎日虫かごをのぞくのが楽しみになっています。(N)



真田館長のひびき

ほたるの森「資料館」ですが、ホタルに関する様々な情報は、市立図書館に比べるとそれほど多くありません。ただ、守山ホタルの資料に関しては、どこにもまけません。

守山ホタルの歴史に係る先人たち、生物学者の神田右京さんに始まり、献上螢の江端榮三郎さん、守山螢の功労者の本山彦一さん、名和昆虫研究所の名和靖さん(右写真)そして、守山ホタル人工養殖の父である南喜市郎さんらは、守山ホタルの歴史を語るうえで忘れてはならない存在です。その功績など、現在整理を進めているところです。



また、ほたるの森資料館設立に至った背景や今日までの成果や課題、これからの方向性等は、今年中に完成予定の資料館創立30周年記念DVDに収めてみようと思います。



## 教えて、ホタル博士！

- Q. ホタルたちは、どうやって交信するの？
- A. ホタルたちは、におい、振動(音)、および光でお互いを認知していると考えられています。発光するホタル類は、光を言葉の代わりにしているといわれ、実際に観察すると、光をたくさん捉えるために頭部の複眼が発達しているように見え、体をかたむけない垂直の飛び方が関係しているかもしれません。また、人間でも見える光を認識できるということは、人間と同じ色彩感覚で世界を見ているのかもしれない。(H)

